

駒どり介護員養成研修 介護職員初任者研修課程（通学）
科目別シラバス

科(科目)名	内 容	実施計画
(1)職務の理解 (6時間)	指導目標： ① 初任者研修にあたり、国の施策の動向、介護職のキャリアパスの概略を学ぶ ② 介護職がどのように環境でどのように仕事を行うのか、具体的なイメージをもって実感し以降の研修に実践的に取り組める	
	①多様なサービスの理解	介護保険サービス（居宅、施設）及び介護保険外サービス、身近にある多様なサービスについての理解
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	居宅、施設の働く現場におけるそれぞれの仕事内容 居宅、施設の実際のサービスについての理解
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	指導目標： ① 介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚する ② 自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたって基本的視点及びやっけてはいけない行動例を理解している	
	① 人権と尊厳を支える介護	人権と尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション 虐待防止・身体拘束廃止、個人の権利を守る制度の概要
	②自立に向けた介護	介護の目標や展開について、自立支援・介護予防の考え方
(3)介護の基本 (6時間)	指導目標： ① 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している ② 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる	
	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	介護職としての共通の基本的役割とサービスごとの特性、医療、看護との連携の必要性
	②介護職の職業倫理	介護職の職業倫理の重要性を理解し、利用者やその家族方々とかかわる際の留意点等
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護現場での典型的な事故や感染、安全に対する備え、リスクマネジメント等の考え方やその方法の理解
	④介護職の安全	介護職に起こりやすい健康障害やストレス、それらに対する心身の健康管理
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	指導目標： ① 介護保険制度・障害者総合支援制度を担う一員として、介護保険制度の理念に対する理解をしている ② 利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度、障害者総合支援制度、その他制度のサービスの位置づけや代表的なサービスを理解している	

	①介護保険制度	介護保険制度の位置づけの理解及び目的、動向 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
	②医療との連携とリハビリテーション	医行為と介護、訪問介護、施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーション理念
	③障害者総合支援制度およびその他制度	障害者自立支援制度・障害者福祉制度の理念、個人の権利を守る制度の概要
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	指導目標： ① 高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なり、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが求められていることを理解する ② 初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する ③ 記録の機能と重要性を理解する	
	①介護におけるコミュニケーション	共感、受容、傾聴、気づき等基本的なコミュニケーション上の要点、家族とのコミュニケーション上の要点、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの要点
	②介護におけるチームのコミュニケーション	多職種との連携の在り方。介護における記録の機能と情報の共有化の重要性 報告連絡相談の必要性 コミュニケーションをうながす環境
(6)老化の理解 (6時間)	指導目標： ① 利用者の加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面を理解する ② 高齢者に多い疾病の種類と症状等について理解する	
	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	老年期・老化に伴う生理的な変化や心身の変化の特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面等の変化と日常生活への影響
	②高齢者と健康	高齢者に多い疾病の種類と症状、特徴、治療と日常生活上の留意点
(7)認知症の理解 (6時間)	指導目標： ① 介護において認知症を理解することの必要性和認知症の利用者の心理・行動を理解する ② 事例検討により、認知症の利用者の介護における原則について理解する	
	① 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念を念頭に利用者が中心というケアの理解や考え方
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント及び健康管理
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	認知症の心理・行動の特徴、生活への障害 認知症利用者への対応、コミュニケーション、健康管理の重要性・留意点、生活環境の意識
	④家族への支援	認知症の受容課程での援助、介護負担の軽減、家族の気持ちや受けやすいストレスについて

(8)障害の理解 (3時間)	指導目標： ① 介護において障害の概念と I C F を理解する ② 高齢者の介護の違いを念頭におきながら、それぞれの障害の特性と介護上の留意点を理解する	
	① 害の基礎的理解	障害の基本的概念 I C F の考え方 障害者福祉の基本理念
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	身体障害・知的障害・精神障害・その他の心身の機能障害等の内容、その特徴及び障害に応じた支援の考え方
	③家族の心理、かかわり支援の理解	障害の受容の過程をもとに、家族支援にあたっての留意点及び家族のケアの重要性
(9)こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	指導目標 ① 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基本的な一部又は全介助等の介護が実施できる ② 尊厳を保持しその人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する	
	① 護の基本的な考え方	介護の理念・法的根拠、介護を行う上での視点、生活支援技術としての介護の基本的な考え方。
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、こころの持ち方が行動に与える影響、からだの状態がこころに与える影響
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨、関節・筋に関する基礎知識、介護技術で必要なボデイメカニクスの知識
	④生活と家事	家事援助の機能と基本原則に基づいた生活支援
	⑤快適な居住環境整備と介護	高齢者・障害者の身体の状態に合わせた居住環境整備と福祉用具の活用に関する留意点と支援方法
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	整容の意義を理解し、高齢者に負担のない衣類の着脱介助方法の実技の実践
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	体位変換と移動・移乗の意味とに関する用具・機器や様々な車いす、杖などの基本的な使用方法、体位変換と移動・移乗に関する体の仕組みの理解と指示に基づいた介助